

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 不育症診療による不安、うつ軽減効果についての観察研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 産婦人科 (研究責任者) 青木 藍子

<研究期間>

承認日 ~ 令和 10 (西暦 2028) 年 3 月 31 日

<研究の目的と意義>

不育症の患者さんでは一般の挙児を希望する女性に比較してうつや不安が有意に大きいとされています。不育症患者においてうつや不安の観察研究はいくつか報告がありますが、その変化を経時的、長期間にわたって観察した研究はありません。

不育症診療は原因検索、対策、検証、理解のステップの繰り返しですが、この研究はその過程でのうつや不安状態の変化を経時的に観察することを目的としています。

<利用する試料・情報の項目>

ご回答いただく質問紙の内容のほか診療記録より、年齢、血液検査データ(不育症の原因精査で行ったもの)、治療方法、転帰の情報を使用いたします。

<対象となる方>

西暦 2022 年 4 月 1 日～西暦 2027 年 9 月 30 日の期間に産婦人科で不育症の原因精査を開始された方

<研究の方法>

研究にご参加いただく不育症の患者さんには、初診時、不育症の原因精査の終了時、妊娠時、妊娠後期の 4 回にわたりうつや不安状態に関する質問紙による調査をさせていただきます。

研究にご参加いただく対照者の患者さんには、妊娠初診時、妊娠後期の 2 回うつや不安状態に関する質問紙による調査をさせていただきます。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1)

産婦人科 氏名: 青木 藍子

電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2522 (PHS) 8718